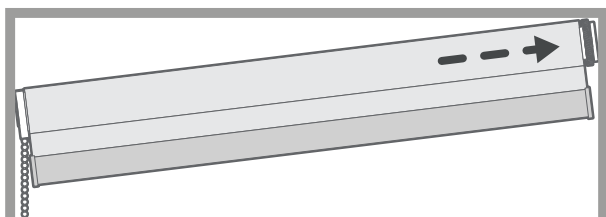


クリック2フィット (突っ張り式) 取り付け方法

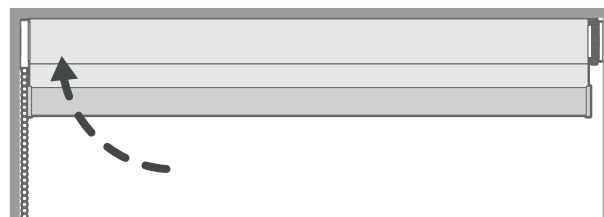


ツイスト2フィットの取り付け

チェーンコントローラーと反対側のダイヤルを壁に押し当てます。

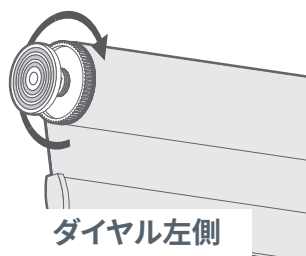


バネを縮めた状態で、チェーンコントローラー側を上げて、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。バネの反力で窓枠に固定します。

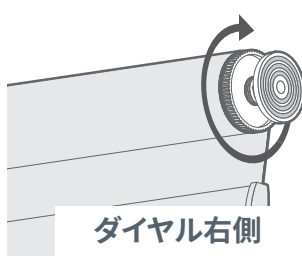


左右ヘテンションが掛かり、本体が固定されているのを確認してください。※この時点で窓枠に固定されない場合は、商品サイズが異なっている可能性がありますのでカスタマーサポートまでご連絡下さい。

◆ 幅1606mm以下、丈1800mm以下の商品:



ダイヤル左側



ダイヤル右側

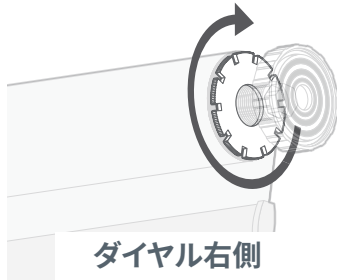
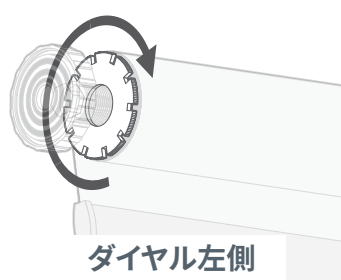
ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。回らなくなったら固定完了です。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

アドバイス

生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。

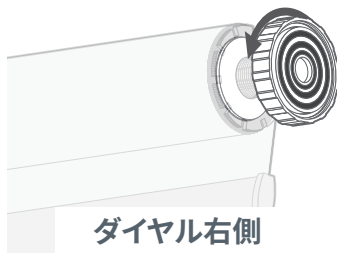
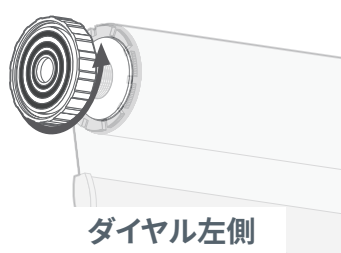
◆ 幅1607mm以上または丈1801mm以上の商品



Step 1

ダイヤル内側の調整リングを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。

注意: ダイヤルと一緒に回らないように、ダイヤルを手で押さえながら調整リングを回してください。



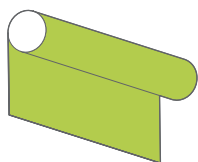
Step 2

ダイヤルをロールスクリーンの筒に対して、反時計回りに回します。調整リングとダイヤルが接したら固定完了です。

アドバイス

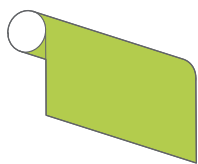
生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。

その他



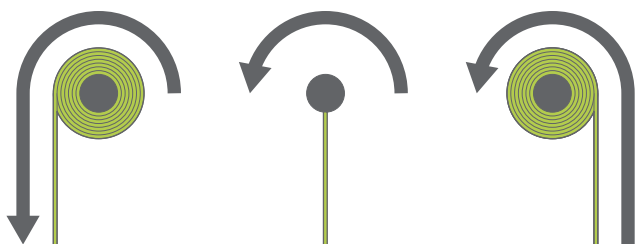
スタンダード巻き

ロールスクリーンは生地を2通りの方向に巻き付けることができます。「スタンダード巻き」は窓または壁に近い位置でスクリーン生地が上下開閉し、本体がチューブの後ろ側に巻き上げられる形です。一般的に遮光タイプのロールスクリーンに使われ、窓枠の外に取り付けることが多いです。「スタンダード巻き」は光漏れが少ないのがメリットです。



リバース巻き

「リバース巻き」はチューブの前側でスクリーン生地が上下開閉し、チューブ自体を隠す効果もあります。また窓枠内にスクリーンを取り付ける場合、この巻き方ですと、窓ノブやその他の障害物とスクリーン生地の接触が防げます。



スクリーン生地の巻き方を変える場合は、まず現在巻いてある生地をすべて巻き出し、そのまま同方向にまき直します。その際、手のひらを滑らせて生地がしっかりとチューブに巻き付いていることを確認しながら巻いていきます。

安心してブラインド等をご使用いただくために

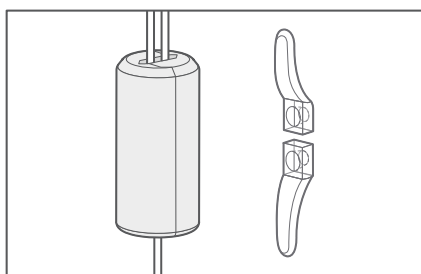
TUISSでは小さなお子様がいるご家庭でも、安心してブラインドやスクリーン類をお使いいただくために、次の部品をご用意しています。

•解除ジョイント

子供の体重がかかると外れる部品です。

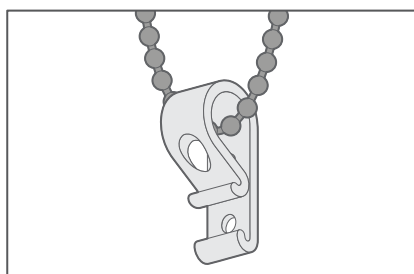
•コード留め具:コードクリート チェーンクリップ

コードやチェーンを壁に固定する部品です。子供の手の届かない位置で固定することにより事故を防止する効果があります。



解除ジョイント

コードクリート



チェーンクリップ

! 注意

操作コードまたは操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性がありますので、必ず下記項目をご確認ください。

! 警告

操作コードまたは操作チェーンは付属の安全対策部品をお取り付けいただき、必ずお子様の手の届かない位置に設置してください。

! 警告

お子様がよじ登って操作コードや操作チェーンに手が届いてしまわないよう、窓の近くにベビーベッドや家具などを設置しないでください。それらに登って手が届き、事故につながる恐れがあります。

操作コードや操作チェーンについて十分ご理解いただいたうえでご使用をお願いいたします。